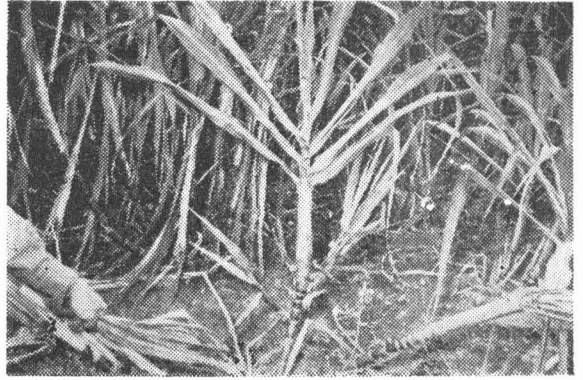


琉球大学学術リポジトリ

農家と木工 (3)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岸本, 幸安 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19578



第三図 節間が短縮し其部分の芽が異状に發育する
葉もモザイク斑を呈するものが多い(夏植)

類の駆除には本病の防除も役立つと思われる。
ハ、事情が許せば輸作をして一、二回甘蔗以外の作物を入れた
ス。
ニ、将来の問題として、抵抗性品種の育成若くは導入の研究が
ある。(鳥袋俊一)

農家と木工(3)

椅子の製作

一、椅子のはたらきについて

書斎や事務所等で読書や仕事をするときの椅子、休息のため

に使われる椅子をデザインする場合には、どんな点に気をつけ
たらよいか。どうしたら掛け心地のよい能率的な椅子をデザイ
ンすることが出来るか。椅子のデザインは勝手な想定や、風変
りな形体を主むことではないと思ひます。
そういつた点について、椅子の基本的な問題にふれてみたい
と思ひます。

これまでの木製の椅子から最近では、工業技術と新材料の発明
によつて、従来の椅子の常識を脱したものがあつます。特にア
メリカのイームズ等の如何にも掛け心地のよい成形合板や、合
成樹脂の曲面構成の椅子から、更に鋼線の網で作られた椅子は
デザインを飛躍させたものであります。

この新しい技術と材料が次々と發展するからこの様な条件の
組合せはデザイナーにとつては今日非常に重要な条件となつて
います。

故にこれらの基礎のない椅子の形体の追求は何等の意味のな
いものである。

最近スエーデンのベンクト・オツカープロムという医者の研
究が公表されて、椅子と人体の工学的な理論や実験によつて、
その有機的な関係を明らかにしている。

つまり椅子のデザインのむずかしさはこの点にある。

私達が毎日のバス、時々旅行に経験する車の座席では確か
にその掛け心地のよし悪を意識することが多い。こんな時に專
門的な立場からその理由を分析してみると、座席が高過ぎると
か、低過ぎるとか、座席の奥行が狭過ぎるとか、傾斜が足らな
いか、背当りが悪いとか、クッションの硬軟、いろいろの理
由を発見する。

家庭の場合では生活や行動の自由が許されるから、さして問題
ではないかも知れないが、それでも、長時間の読書や、接客な
どの場合、毎日使つてゐる椅子に対しては、しばしば不満をも
つことがある。これも案外人間の慣れで平気であられる場合が
多い。

作業場の立位で、長時間の仕事に脚をはらせて疲れはてる勞

働者、事務所でも高過ぎる椅子や、高さの著しい椅子と机で頸
約り姿勢で執務していたり、座の落ち込んだ椅子に背を丸めて
仕事を續けている人達は又の毒であり、よく見かけることであ
る。一般には實際椅子の座面の高さは約四五種であつて机の高
さとの差尺は約三〇種となつてゐる。

この様な現実の問題はたゞ寸法だけの問題ではないのであつ
て、なかなか複雑な要素からなりたつてゐるようである。例え
ば、

(一) 執務の種類による活動の姿勢(読書・書記・家事・仕事
等)

(二) 休息の種類による姿勢(接客・喫煙・喫茶・談話・休憩
睡眠等)

の場合の能率・疲労回復・姿勢の変化等に対する適合性から、
次の問題が起つてくる。

(A) 人体を支持する面の形や材料と体圧の分布状態。

(B) 動作と全体構成。

(C) 体圧の分布、接触材料との摩擦とクッション。

これが交通機関の座席になると更に、疲労と不快にもつとも
大きな要素となる振動や、衝撃とを如何に吸収するかは重要問
題である。学童の椅子が学童の心身に及ぼす影響を考へても、
あまり無関心ではないだろうか。

二、椅子の寸法

椅子の形は座面とよりかゝりと肘受(ひぢうけ)の三つから
構成されている。

(1) 座の高さ

座の高さは、椅子の性質を左右する重要な鍵であつて、その
椅子が活動系のものであれば高くし、休息系のものであれば低
くなる。

大人用活動系椅子一三九種より四五種
大人用休息系椅子一三二種より三六種

(2) 座の奥行

座の奥行は、高さとは逆に、活動系から休息系へ向つて漸増する性質をもつ。一図参照し、脚の高さが増せば奥行が減じ、又高さを減じて、休息系の椅子にすれば、必然奥行を増さねばならぬ。

大人用活動系椅子一三八種より四二種
大人用休息系椅子一四四種より五〇種

(3) よりかゝりの長さ

よりかゝりの長さは、休息系になるに従つて漸増する。活動系の初級の椅子は、よりかゝりはいらぬ。一例(例)シン用椅子次に事務等のように仕事を対象とする場合のものは、腰止めとして、即ち第一腰椎骨より第二腰椎骨までの間で背を支持し、最高の場合でも肩以上の高さにする必要はない。更に進んで休息椅子の圈内に入ると、よりかゝりは傾斜度を増して行く。上体がかなり水平に近づくとき深頸部まで支持しなければならぬ。

大人用活動系椅子一三九種より四二種
大人用休息系椅子一四五種より四八種

(4) よりかゝりの傾斜度

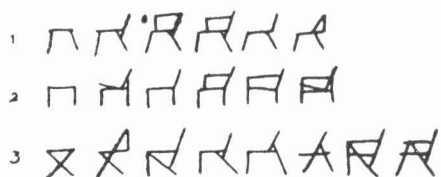
椅子が休息系となつてよりかゝりの長さが増すと必ず傾斜度を増さねばならぬ。

大人用活動系椅子一九八度より二〇二度
大人用休息系椅子二一二度より二二〇度

(5) 座面の傾斜度

座面は活動系にあつては水平であるが、より活動的ならしめる為若し手前傾にする場合もある。ところが休息系になると反対に座面を後方への傾斜を強くして、それと共によりかゝりの傾斜度も増していかねばならぬ。若し、よりかゝりは傾斜しているのに座面のみ前傾になると、人体が滑り台に横たえたように滑り出して自身の安定保持に不必要な努力を要するので、無駄な力を費し疲勞をまして不快なものである。従つて座面の傾斜はよりかゝりの傾斜とは相対的關係がある。

大人用休息系椅子一七度より六度



座材構成による椅子のプロフィール

(6) ひちうけ

活動系の椅子では、原則として水平を要し、なるべく体測え沿うようにし、ひちの高さは幾分低目にした方がよい。若しひちが高過ぎたり体側へに隙間があり過ぎるとひちの活動に弊支えてくる。休息系の椅子になるとひちうけの形も少し變つてゐる。

休息椅子は人体の腕が肩から分かれてゐるのをそのまま反映して、よりかゝりの可成りの上の方からひちのつけ根が始まり前へ行く程下がつて掌まで受けるようになるのが最も理想的なひちうけの形である。然しいつでもその形をとるといふわけにいかない。極普通は水平か又は若干後傾するか、或は腕の曲面に合せてゆるい曲面をとるようになる。

肘掛の高さ一三種から二八種
肘掛の間隔一四四種から五〇種
肘掛の長さ一三〇種から四〇種

肘掛の幅一六種から一〇種

以上で椅子を構成する各要素が活動系から休息系に進むに従つて如何に変化するか、その性質が明らかにされたと思う。椅子は男女の性別・掌童用等の種類の中でも更に活動系や休息系によつて、適当な寸法の範囲があつて、現在日本でも標準化されたものがある。(つづく)

(岸本幸安)



読者だより

質問 オクラ(アメリカネリ)について

一、原産地 二、科属 三、栄養価 四、栽培法以上御指示下さい。

勝連村役所 山城 武三

答

一、アフリカ地方の原産で、今から約二千年前エジプト人によつて作られていたといわれ、現在は各国に伝わり米園においても相当多く需要されております。明治初年頃に日本に輸入されたと云われています。

二、オクラは棉、仏僧花、たちあらい等と同族 Malvaceae (あらい科)に属し、学名は Hibiscus esculentus に仏僧花と同属であります。

三、栄養価としては抗脚気性ビタミンBを多く含んでおり、一種独特の香味をもち、日本でも急速に需要が増えつゝあり、料理店の需要や一般家庭の消費にも極めて有望な果菜となる事でしょう。又家庭菜園の一部に数本植え、觀賞用としても相当の価値があります。オクラの軟かいさは極めて軟かく粘液質のもので、吸物にしても美味で、外国ではこれを薄く切つてスープに入れます。日本流の調理は、その軟さを薄く輪切にして味噌汁、吸物、三杯酢にするのも良く、味噌漬、糠味噌漬にして